

2015 年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座《講義録4限目》

《講座のメインテーマ》

防災の実践事例を学び、
地域力で生き延びる

記録：講座協力委員 佐藤忠文

◆開催月日：2015 年 10 月 29 日(木) 13:30～17:00

◆開催場所：KU ポートスクエア



◆本日のテーマ◆ 防災・減災の実践事例を学ぶ

事例1: 地域ケアプラザの地域防災支援の取り組み

講師＝金 美羽 氏（横浜市六角橋地域ケアプラザ所長）

事例2: 防災活動という絆づくり

講師＝篠原憲一 氏（ひらつか防災まちづくりの会代表）

事例3: 減災・災害対応分野における行政とボランティア団体の協働活動

講師＝濱田政宏 氏（ざま災害ボランティアネットワーク代表）

事例1 地域ケアプラザ(3つの機能)と防災への取組

- ・3つの機能：地域活動・交流、福祉・保健の相談支援、福祉・保健サービス
- ・特別避難場所として、災害発生時に開設、在宅要援護者の受け入れ、運営
- ①寝たきり・認知症の方等 ②児童 ③障がい(児)者 ④負傷者・病弱者等
- ・保健サービス「地域づくりデビュー講座」の開催(講師：防災塾・だるま)

横浜市と災害時における在宅要援護者のための特別避難場所の協力に関する協定を締結。 ルート：地域防災拠点 ↔ 区本部(区役所) ↔ 特別避難所



講師：金 美羽氏



事例2

ひらつか防災まちづくりの会活動

防災活動は人と人の絆づくり

防災かるた



まち歩きをとおして暮らしの中の自然とまちの歴史を体感し、減災意識を醸成
多種多様な人材で今後も防災活動を展開； 防災訓練応援

自治会や、学校や青少年への普及活動： 学校防災教育(崇善小学校ほか)

講師：篠原憲一氏

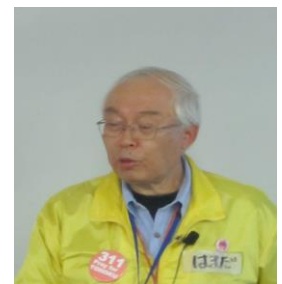
事例3 ざま災害ボランティアネットワークの活動(行政との協働事業)

行政の防災担当部署の仕事は年々増加
自治会のパワーもかつての力なし



市民の減災・災害対応活動
団体との協働事業しかない

- ・市民・職員防災啓発活動、いっせい防災行動訓練
- ・減災・災害対応講座(市職員と自治会役員対象)、災害避難所宿泊体験塾、
災害避難所開設・運営訓練、防災カフェほか



講師：濱田政宏氏

濱田さんの教訓： 講座・訓練を受けた人の1%が「学びを行動化」すれば大成功と考えるべし、
「啓発」でなく「感化」だと心がけるべし。